

ノ

寄月戀

思ふこと月より上の心かな

秋雨 梟の夜も寐らん秋の雨

石山の石洗ひけり秋の雨

秋風 大阪や屋根の上吹く秋の風

芭蕉破れて先住の發句秋の風

芭蕉破れて酒旗を吹くなり秋の風

古關を通りぬけたり秋の風

秋風のさわぐ柱や團扇かけ

髪を削りて

南とり北ともいはず秋の風

野分 南天や野分のおしたばらりく

露 白露に印幡の沼の夜明かな

白露や淡路は明の潮ぐもり

白露白し稻甚木の果の筑波山

星月夜 見に行かん野守の鏡星月夜

雁 蘆原やばらりくと落つ雁

天井の隅で鳴きけり夜半の雁

イキ

73





X

寄月戀

イ千

73

秋雨

思ふこと月より上の心かな
梟の夜も寐もらん秋の雨

秋風

石山の石洗ひけり秋の雨
大坂や屋根の上吹く秋の風

芭蕉破れて先住の發句秋の風
芭蕉破れて酒旗も吹なり秋の風

古關を通りぬけたり秋の風
秋風のさわぐ柱下團扇かけ

髪を削りて

南より北といはれ秋の風

野分

南天の野分のおしたばらりく

露

白露に印帳の沼の夜明かな

白露や淡路は明の潮ぐもり

露白し稻葉の果の筑波山

星月夜

見に行かん野守の鏡星月夜

雁

蘆原やばらりくと流る雁

天井の隅で鳴きけり夜半の雁





子規撰句并書 藤野古也作句



上目えーちのちちるん

長久

子規先生の遺稿を
目録として記す

秋江

二
海
花